

## 目 次

〈 繊維情報 〉	
・2005年6月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2005年5月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	7
・世界 米国、欧州の対中繊維規制動向.....	10
・アジア 中国 2005年1-6月の繊維品貿易・輸出は大幅な伸び、輸入は低調.....	13
・米州 米国 2005年5月の繊維品輸入・中国からの急増続く.....	18
2005年6月の大手小売店販売、暑い天候で売上げ伸びる.....	21
中米自由貿易協定、発効.....	25
〈 組合関係の会議と催事 〉	
・(2005年7月)(2005年8月のスケジュール).....	29
〈 組合業務報告 〉	
・3運賃同盟、繊維品のスペシャル・レートの適用期間を延長(輸出).....	31
・日本荷主協会・関西委員会を開催(輸出).....	32
〈 お知らせ 〉	
・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出).....	33
・9月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	34
・「中国国内で繊維製品または衣料品を販売する際に適用される法律・法規と検査要求事項の解説」 発刊紹介(カケン).....	35
〈 組合員情報 〉	
・組合員情報.....	35
・海外取引照会・展示会案内.....	36



## ◎ 2005年6月の繊維品輸出概況

### I. 繊維品全体の輸出

－前年同月比横ばいの7億6,842万ドルに止まる－

2005年6月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比横ばい（前年同期比：2%増）の7億6,842万ドルとなった。

なお、為替は2004年6月の109.47円に対し、2005年6月は108.63円とほぼ横ばい推移となっていることから、円ベースでも横ばいの（同1%減）の834億7,300万円となっている。

#### <主要地域別輸出>

6月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の77%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは、前年同月比横ばい（同1%増）の6億1,415万ドルに止まった。

東アジアの主要国向けでは、最大市場の中国が微減また台湾、香港、マレーシア、インドネシアが不振推移となったが、ベトナムが大幅に増加、また韓国、タイ、シンガポール、フィリピンが増勢で推移した。

純輸出市場向けは、シェア3%の西アジアは、サウジアラビアが好調に推移したが、アラブ首長国が減少し、全体として6%減（同1%減）の2,552万ドルとなった。

欧米市場は、シェア9%のEUは、織物類は依然低調であるが、糸類が健闘し、EU全体として1%増（同7%増）の5,040万ドルと微増推移となった。また、シェア7%の米国は、綿織物、原料類（綿・糸）、不織布等が健闘し、7%増（同4%増）の5,143万ドルとなった。

#### <主要商品別輸出>

6月の輸出を主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体としては、数量で3%減（同5%減）、金額で5%増（同7%増）と数量減の金額増となった。太宗の合繊綿は、数量で4%減（同5%減）、金額で5%増（同10%増）となった。この内、主力のアクリル綿は、最大輸出先の中国、タイが量的には増加したが、イラン、欧米が後退し、全体としては、数量で6%減（同6%減）、但し金額では、単価の上昇により2%増（同9%増）となった。

一方、ポリエステル綿は、量的には中国、タイは増加したが、EUが落ち込み、5%減（同6%減）となった。但し、金額では単価の上昇により9%増（同7%増）となった。その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力のEU向けが低調で、数量で4%減（同13%増）、金額で1%減（同18%増）となった。

スフ綿は主力の中国が減少したが、ベトナム、タイ、アフリカが伸び、数量で8%増（同4%減）、金額で9%増（同2%減）と数量、金額ともに増加推移となった。

織維品輸出実績(2005年6月)

単位	2005年6月						2005年1月～6月						2004年実績					
	数量	金額		前年同月比		数量	金額		前年同期比		数量	金額		数量	金額			
		千ドル	百万円	数量	ドル		千ドル	百万円	数量	ドル		千ドル	百万円		数量	千ドル	百万円	千ドル
織維品総合計																		
原料(綿)合計	33,840	83,473	768,418	100	97	206,381	422,410	3,978,397	99	102	427,993	900,766	8,330,992					
スフ綿	5,841	2,107	19,392	105	108	30,651	51,420	484,743	95	104	66,597	99,966	923,956					
合繊綿	24,787	6,614	60,890	109	96	157,193	10,778	101,620	96	98	66,597	23,267	215,237					
(ポリエステル)	3,364	620	5,706	105	95	23,199	39,090	368,460	95	107	321,629	73,095	675,403					
(アクリル)	18,825	4,691	43,186	109	94	118,547	3,948	37,228	94	105	51,865	8,007	74,063					
糸 合計	11,455	8,244	75,893	102	102	66,783	27,741	261,486	94	109	243,538	52,514	485,070					
人絹糸	1,024	826	7,601	112	112	6,468	46,763	440,857	105	104	135,543	94,082	870,337					
スフ糸	41	43	400	131	119	6,468	4,592	43,285	128	126	11,482	7,864	72,916					
合繊長糸	9,278	6,213	57,192	83	123	188	252	2,373	112	85	372	591	5,477					
(ナイロン)	1,592	1,381	12,711	104	114	54,625	36,647	345,613	105	103	110,548	73,641	681,155					
(ポリエステル)	3,784	1,560	14,363	104	87	12,789	8,507	80,299	111	107	27,504	17,566	162,369					
合繊短糸	436	347	3,192	117	119	20,663	9,039	85,194	104	114	40,805	16,719	154,685					
綿 糸	450	324	2,983	79	80	2,215	1,703	16,017	72	81	5,733	4,164	38,476					
織物合計	118,952	35,278	324,757	125	141	2,402	1,806	17,044	114	111	4,854	3,756	34,881					
絹織物	879	1,175	10,819	98	95	587,982	169,342	1,594,788	95	95	1,295,836	384,270	3,557,638					
人絹織物	7,684	2,340	21,541	108	151	3,852	6,632	62,461	109	97	7,280	13,304	123,079					
スフ織物	1,271	489	4,505	99	110	38,494	11,925	112,291	100	88	77,844	26,662	246,677					
合繊長織物	57,991	12,774	117,594	70	75	6,285	2,592	24,455	76	76	16,372	6,923	64,317					
(ナイロン)	5,714	1,177	10,835	97	92	267,695	55,968	526,478	93	92	611,549	129,896	1,201,387					
(ポリエステル)	46,189	9,680	89,113	101	99	27,883	5,348	50,272	110	101	55,195	11,163	103,187					
合繊短織物	16,254	3,956	36,413	95	106	209,715	41,413	389,424	91	91	493,931	98,356	909,292					
綿織物	29,387	10,513	96,782	110	106	81,976	18,908	178,143	102	103	166,635	39,208	363,303					
毛織物	5,376	3,978	36,620	96	93	166,500	57,301	540,283	94	95	354,304	123,887	1,149,181					
不織布	49,107	5,073	46,697	101	97	20,707	14,088	132,349	98	99	58,795	42,026	387,539					
タイヤコード織物	1,796	275	2,529	108	89	285,034	26,828	252,618	107	110	574,520	51,660	477,610					
コーティング織物	2,035	5,105	46,998	134	136	9,003	1,425	13,405	133	147	15,129	2,190	20,254					
ニット生地		6,703	61,702	110	114	9,230	21,782	204,562	108	107	17,238	41,001	378,474					
アパレル		2,487	22,898	105			30,152	283,691		104		61,999	573,419					
その他		11,373	104,693	57			18,935	178,968		79		53,076	489,518					
				108			55,764	524,763		105		112,522	1,039,786					

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。  
 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれ合計。  
 3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。  
 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

糸類の輸出は、数量で12%増（同5%増）、金額で4%増（同7%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

主力の合繊長糸は数量で14%増（同5%増）、金額で4%増（同6%増）となった。その内訳は、ポリエステル糸は、中国を中心とする東アジア、欧米が順調に推移し、数量で19%増（同4%増）、金額で17%増（同17%増）となった。一方、ナイロン糸は、数量で中国を中心とする東アジアが振るわず13%減（同11%増）となったが、金額では、単価の上昇により4%増（同9%増）となった。その他の合繊長糸では、ポリウレタン糸は中国、香港が減少し、数量で11%減（同6%減）、金額で23%減（同15%減）となった。

また、人絹糸は、主力の韓国は減少したが、中国、EUが大幅に増加し、数量で19%増（同28%増）、金額で31%増（同28%増）と好調に推移した。

太宗の織物類の輸出は、数量で5%減（同5%減）、金額で2%減（同3%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で11%減（同9%減）、金額で5%減（同7%減）と依然低迷推移が続いている。

地域的には、全体の71%を占める東アジア向けは、ベトナム、韓国、台湾、タイは大きく伸びたが、中国、香港、シンガポール、フィリピン、インドネシアが振るわず、東アジア全体として8%減（同5%減）となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、サウジアラビアは横ばいに止まったが、最大市場のアラブ首長国が大幅に減少し、西アジア全体として12%減（同15%減）となった。

欧米市場向けは、EU向けはドイツ、フランスが健闘し、久しぶりに横ばい（同13%減）と減少を免れたが、米国は36%減（同30%減）と引き続き大きく後退した。

ナイロン織物は、数量で1%減（同10%増）、金額で1%増（同3%増）と数量、金額ともにほぼ横ばい推移となった。シェア80%の東アジア向けは主力の中国は微増となったが、香港が大きく減少し5%減（同14%増）となった。一方、シェア9%の米国は34%増（同6%減）と大幅な増加となった。

綿織物は、数量で7%減（同6%減）、金額で4%減（同3%減）と数量、金額共に先月に続き不振推移となった。82%のシェアを占める最大市場の東アジア向けは、香港、ベトナム、タイは大幅に増加したものの、中心市場の中国が2桁の減少となり、東アジア全体としては7%減（同5%減）となった。その他の市場では、シェア11%の米国が29%増（同8%減）、シェア2%のEUは6%増（同8%増）と欧米市場は揃って好調な推移となった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で9%増（同4%増）、金額で10%増（同5%増）と主要織物では、唯一、数量、金額共に先月に続き好調な推移となった。全体の65%を占める東アジア向けは、最大市場の中国、ベトナム、香港が揃って増加し、インドネシア、タイ等は減少したものの、東アジア全体として2%増（同横ばい）となった。一方、シェア33%の民族衣装用の西アジアは、アラブ首長国は減少したものの、サウジアラビア、クエートが共に大幅な増勢で推移し、西アジア全体として23%増（同14%増）と大きく増加した。

人絹織物は、数量で10%増（同横ばい）、金額で1%減（同10%減）と数量増の金額微減と

なった。シェア 72%の東アジアは、中国、香港が好調に推移し、東アジア全体として 19%増（同 4%増）となった。一方、シェア 10%の西アジアは、アラブ首長国、サウジアラビアは増加したが、アフガニスタンが壊滅状況となり、全体として横ばい（同 2%減）となった。

毛織物は、数量で 3%減（同 2%減）、金額で 1%増（同 1%増）と数量減の金額増となった。地域的には、東アジアが 96%とほぼ全量を占めている。香港、ベトナム、台湾は好調に推移したが、圧倒的なシェアを占める持ち帰り用の中国が減少し、東アジア全体として 4%減（同 3%減）となった。

不織布の輸出は、数量で 11%減（同 7%増）、金額で 8%増（同 12%増）と数量減の金額増となった。全体の 63%を占める東アジアは、主要国では、香港は健闘したが、韓国、中国、台湾が大幅減となり、全体として 23%減（同 8%減）となった。一方、欧米市場は揃って好調で、シェア 24%の米国向けは 54%増（同 62%増）、シェア 7%の EU も 10%増（同 48%増）と共に増加推移となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で 14%増（同 8%増）、金額で 10%増（同 9%増）と数量、金額共に増勢推移となった。全体の 81%を占める東アジアは、最大市場の中国が微減となったものの、香港、ベトナム、タイが大きく伸び、全体として 10%増（同 5%増）となった。欧米市場は、シェア 8%の米国は 87%増（同 72%増）と前月に続き大きく増加、一方シェア 5%の EU は 17%減（同 1%増）となった。

ニット生地の輸出は、数量で 2%増（同 3%増）、金額で 5%増（同 6%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。全体の約 9割強を占める東アジア向けは、主要国別では、最大市場の中国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシアが増加推移、一方香港、韓国は減少推移となった。欧米市場向けは、米国は大幅増となったが、EU は低調な推移となった。

アパレルの輸出は、金額で 43%減（同 19%減）と大幅な後退となった。

内容的には、布帛製衣類は、外衣類は、中国、香港は好調に推移したが、台湾、米国が振るわず、金額で 15%減（同 15%増）となった。下着類も、中国、台湾は健闘したが、香港、韓国、EU が大幅に減少し、金額で 26%減（同 21%減）となった。

一方、ニット製衣類は、ニット製衣類輸出の主力であった香港向けのニットパネル（最終中国で編み立て後米国向け）の輸出が、2005年からの米国の対中国枠の撤廃により、激減状況となっており、外衣類は金額で 82%減（同 50%減）、下着類も 71%減（同 34%減）と各々壊滅的な減少となった。

## II. 原料（綿・糸）の輸出

### <綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、主要品目ではスフ綿が増加推移となったが、主力のアクリル綿、ポリエステル綿、ビニロン綿が減少推移となり、全体では3%減の33,840トン、金額については5%増の8,225万ドルとなった。

### <糸輸出>

糸は、合繊短繊維糸が減少推移となったが、主力品目の合繊長繊維糸をはじめ、人絹糸、綿糸が増勢推移となり、全体では12%増の11,455トン。金額についても4%増の7,589万ドルとなった。

### 2005年6月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2005年6月				2005年1～6月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	5,841	108	19,392	332	30,651	96	101,620	332
合繊綿	24,787	96	60,890	246	157,193	95	368,460	234
ポリエステル	3,364	95	5,706	170	23,199	94	37,228	160
アクリル	18,825	94	43,186	229	118,547	94	261,486	221
他合繊綿	2,597	109	11,998	462	15,447	112	69,747	452
人絹糸	1,024	119	7,601	742	6,468	128	43,285	669
合繊長糸	9,278	114	57,192	616	54,625	105	345,613	633
ナイロン	1,592	87	12,711	798	12,789	111	80,299	628
ポリエステル	3,734	119	14,363	385	20,663	104	85,194	412
他合長糸	3,950	126	30,118	762	21,173	102	180,120	851
綿糸	450	141	2,983	663	2,402	114	17,044	710

出所：財務省統計

## III. 織・編物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出

6月の織物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出は、先月に続き、主要織物では、ポリエステル（短）織物が健闘したが、ポリエステル（長）織物を始め、綿織物、毛織物が低調な推移となり、織物トータルで、数量で前年同月比5%減（前年同期比5%減）、金額で2%減（同3%減）となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていないニット生地、コーテッド織物は数量、金額共

に堅調に推移した。

市場的には、織物トータルで、主力の東アジアは、主要国では台湾、シンガポール、ベトナム、タイが数量、金額共に前年同月を上回り好調に推移した。特に、ベトナム向けの好調が目立っている。一方、最大市場の中国、香港、韓国、インドネシア、マレーシアは数量、金額ともに前年同月を下回り低調な推移となった。

また、純輸出市場では、西アジアは、サウジアラビアは特にポリエステル（短）織物の好調から数量、金額共に大幅な増加となったが、アラブ首長国はポリエステル（長・短）織物が振るわず、数量、金額共に減少推移となった。一方、欧米市場は、主力のポリエステル（長）織物の不振が続いているが、米国は綿織物の健闘により、金額では増加推移となった。

#### 2005年6月の織・編物(絹・化合織・綿・毛)の輸出状況

単位：1,000SM、1,000\$、前年比は数量比%

	2005年6月			2005年1-6月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	879	10,819	151	3,852	62,461	109
人絹織物	7,684	21,541	110	38,494	112,291	100
スフ織物	1,271	4,505	75	6,285	24,455	76
合織（長）織物	57,991	117,594	92	267,695	526,478	93
ポリ（長）織物	46,189	89,113	89	209,715	389,424	91
ナイロン織物	5,714	10,835	99	27,883	50,272	110
合織（短）織物	16,254	36,413	106	81,976	178,143	102
ポリ（短）織物	15,013	33,640	109	75,308	164,951	104
綿織物	29,387	96,782	93	166,500	540,283	94
毛織物	5,376	36,620	97	20,707	132,349	98
コーテッド織物	2,035	46,998	114	9,230	204,562	108
ニット生地	18,370	61,702	102	87,373	283,691	103

(注) 1. ポリエステル（長）、ナイロン（長）織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

#### IV. 主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2005年6月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは総じて振るわず、布帛製外衣・下着、メリヤス製外衣・下着いずれの品目も大きく減少推移となり、全体では前年同月比43%減となった。その他については、敷物、細幅織物・紐類が増加推移、漁網・その他の網・網地が減少推移となった。

#### 2005年6月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：1,000ドル、金額：前年比%

	2005年6月		2005年1～6月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	14,288	86	100,902	99
外 衣	6,740	85	58,698	115
下 着	3,493	74	21,788	79
スカーフ・マフラー	879	127	3,519	115
ニット製衣類・付属品	8,609	37	78,066	65
外 衣	1,848	18	20,960	50
下 着	2,826	29	40,560	66
敷 物	3,309	129	15,628	116
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	3,223	94	20,293	117
細 幅 織 物 ・ 紐 類	20,058	108	95,426	107

#### ◎ 2005年5月の繊維品輸入概況

##### 1. 繊維製品計

5月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比112.2%（前月比は78.0%）、ドルベースで同117.9%（前月比は78.3%）、数量（重量）で同109.6%（前月比は85.9%）と、円・ドル金額が2ヶ月連続で増加、数量も前月の0.5%の微増に引き続き2ヶ月連続で増加となった。前月比は、夏物衣料の入荷ピークを過ぎ金額、数量ともに減少した。

糸類は、数量で前年同期比5.5%増と前月まで5ヶ月続いた減少から一転増加、内訳は絹糸、綿糸、人織（長）糸、その他の糸が増加、毛糸、人織（短）糸は減少となった。織物類は同5.3%増と2ヶ月連続で増加、絹織物、毛織物、黄麻織物、人織（長）織物、人織（短）織物、メリヤス生地、その他の織物が増加、綿織物は減少した。衣類は同10.2%増と前月まで2ヶ月続いた減少から増加に転じた。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同13.3%増と7ヶ月続けて増加した。

前月は円・ドル金額が約 6%の増加、数量が 0.5%の微増となったが、今月はドル金額が 17.9%、円金額が 12.2%、数量が 9.6%それぞれ増加した。円金額の内訳を見ると、二次製品が 18.2%増と引き続き増加しているのに加え、織物類が 8.1%増加、太宗を占める衣類も 12.8%の増加となり、糸類が 4.0%減少したものの、繊維製品計では 12.2%の大幅な増加となった。

## 2. うち糸類

- 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月が記録的な落ち込みであったこともあり前月比 28.6%、前年同月比も 23.9%とそれぞれ大幅な増加となった。全体の 90%強を占める純綿糸の輸入を前月に比べると、国別では首位のパキスタンが 64.0%と大きく増加したのをはじめ、インドネシア 16.3%、インド 16.6%、中国 40.8%と軒並みプラスとなった。番手別では、30番手中心が 3.4%の微減となったものの、20番手中心が 69.8%、40番手以上も 24.9%と大幅に増加した。糸種別では、カード糸が 56.3%の大幅増となったが、コーマ糸も 13.0%の増加となった。
- 毛糸の輸入実績は前年同月比数量ベース 15.1%減と、8ヶ月連続の減少となった。品種別に見ると、紡毛糸の輸入が前月増加の反動もあり同 32.1%減と大きく減少したのに加えて、太宗を占める梳毛糸が同 14.0%減少した。国別では、トップシェアの中国が同 7.2%減と3ヶ月ぶりに減少、次ぐマレーシアは 6.3%の増加となったが、前月と同様にイタリア、ペルー、タイからの輸入が大幅に減少した。
- 人繊糸の輸入実績は、トンベースで人繊(長)糸が前月比 1.6%微減の4ヶ月ぶりのマイナスとなったが、前年同月比は微増ではあるが4ヶ月ぶりのプラスとなった。主要商品を前月に比較すると、主力商品の台湾などからのポリエステルが 9.3%増、米国、中国などからのナイロンは前月に大きく増加した反動もあり 20.3%の減少となり、量的に少ない人絹糸も中国を中心に半分に落ち込んだ。一方、人繊(短)糸は主力商品の T/C, T/R でインドネシアからのポリエステル紡績糸がマイナス 3.7%、インドネシア、中国からのマイヤー毛布用のアクリル紡績糸も 27.7%、スフ糸も 5.7%の減少となり、全体では 11.2%の減少、前年同月比も 11.4%減の 16ヶ月連続のマイナスとなった。

## 3. うち織物類

- 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比 17.1%減、前年同月比も 17.9%の減少となった。国別で前月に比較すると、主要国で2位のインドネシア 14.1%、3位のパキスタンが 13.2%それぞれ増加となったものの全体の 70%強を占める中国が 23.5%と大きく減少したことにより全体を引き下げた。品目別にみると、主要3大商品はポプリン 27.6%、金巾 48.3%、粗・細布 14.4%それぞれ減少となった。

- 毛織物の輸入実績は、数量(面積)ベース前年同月比 2.3%増と、前月までの 3 ヶ月連続の大幅増から小幅な増加となったものの 21 ヶ月連続で増加した。前月大幅増となったイタリアからの輸入が同 4.3%減少したのに加え、中国からの輸入が前月までの 3 ヶ月続けての大幅増から同 7.2%増と落ち着いた増加となったことによる。品目別では、紡毛織物が同 41.5%増と 2 ヶ月連続で増加したものの、主力の梳毛織物は同 4.0%減と 4 ヶ月ぶりに減少した。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 6.9%で 4 ヶ月連続の増加、前年同月比も 42.5%と 7 ヶ月連続のプラスとなった。品目別に前月に比較すると主力商品のポリエステルが 2.5%僅かに減少となったが、量的に少ないナイロンが 63.9%の大幅増、ポリプロピレン等その他も 17.8%増となった。国別では主要国の中国が 5.6%の減少となったものの、韓国が 5.2%、台湾 14.7%、インドネシア、ベトナム等その他も 17.1%の増加となった。一方、人織(短)織物は、インドネシアからのスフ織物が 19.5%の増加となったものの、T/C 織物が 11.8%減、T/R 等その他織物が 28.7%減となり全体では 8.4%のマイナス、前年同月比は 25.4%プラスで 12 ヶ月連続の増加となった。

#### 4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比枚数で 8.9%増、布帛製衣類も同 16.1%増、身の廻り品も重量ベース 15.8%増となり、衣類計では重量ベース 10.2%増となった。ニット製衣類が 2 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 2 ヶ月連続で増加、身の廻り品は 7 ヶ月続けて増加し、衣類計は 3 ヶ月ぶりに増加した。

主要国別に見ると

- 中国は、対前年同月比枚数ベースでニット製衣類が 9.6%増加し 2 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 15.1%増加し 2 ヶ月連続で増加、身の廻り品は重量ベース 18.0%増で 7 ヶ月連続の増加となった。今年 1 月から 5 月までの累計での衣類計(重量ベース)のシェアは 90.5%となった(金額ベースでのシェアは 80.7%)。
- 韓国はニット製衣類が同 6.7%減少、布帛製衣類は 157.7%の大幅増となり、ニット製衣類が 14 ヶ月連続の減少、布帛製衣類は 2 ヶ月連続で増加した。
- イタリアはニット製衣類が同 18.7%減と 5 ヶ月連続で減少、布帛製衣類は 22.1%増と 6 ヶ月ぶりに増加。
- ベトナムはニット製衣類が同 16.8%増と 2 ヶ月ぶりに増加、布帛製衣類も 26.8%増と 6 ヶ月ぶりに減少した前月から再び増加となった。

- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではスーツ、アンサンブル、ジャケット、ズボン、ドレス、スカート、アウターシャツ、スポーツウェア、下着類などが増加、コート、セーターが減少。布帛製衣類では紳士用はスーツ、アンサンブル、ジャケット、ズボン、下着類が増加、コートなど減少、婦人用ではスーツ、アンサンブル、ジャケット、ドレス、スカート、ズボン、ブラウスが増加、コートなどが減少した。

前月は数量、金額ともに落ち着いた増加となったが、今月は数量、金額ともに約 10～15% 程度増加した。日本経済の持ち直しに伴い、雇用安定・個人所得の増加から個人消費も改善傾向にあるとの指標も出ているが、衣類をはじめとする繊維関連マーケットは百貨店・量販店を中心に依然厳しい状況にある。一部には、クールビズによる需要が起きているが、相乗効果が表れる程の勢いはなく効果は限定的と見られる。



## ◎ 米国、欧州の対中繊維規制動向

米国の対中繊維セーフガード関連品目とその動向（8月2日現在）、及び、EUの対中規制品目枠（2005年6月11日～12月31日）消化状況（8月3日現在）を纏めると、次ページ以下の表のとおり。

米国の対中繊維セーフガード関連品目及び動向(2005.8.2現在)

1. 対中繊維セーフガード発動品目

カテゴリーNo.	品目名	発動日	最終期限	消化率	備考
338/339	紳士・婦人用綿製シャツ、ブラウス(ニット)	2005.5.23	2005.12.31	100%	エンバークォー(7月5日)
347/348	紳士・婦人用綿製ズボン	2005.5.23	2005.12.31	100%	エンバークォー(7月8日)
352/652	綿・化繊製下着	2005.5.23	2005.12.31	100%	エンバークォー(7月5日)
340/640	紳士用綿・化繊製シャツ(布帛)	2005.5.27	2005.12.31	93.3%	
647/648	紳士・婦人用化繊製ズボン	2005.5.27	2005.12.31	98.0%	
638/639	紳士・婦人用化繊製シャツ・ブラウス	2005.5.27	2005.12.31	100%	エンバークォー(7月12日)
301	綿糸(コート)	2005.5.27	2005.12.31	19.9%	
332/432/632	靴下類	2004.10.29	2005.10.28	100%	エンバークォー(5月12日)

2. 対中繊維セーフガード申請が受理され現在その是非を審議中の品目

カテゴリーNo.	品目名	受理日	備考
349/649	綿・化繊製ブラジャー	2005.4.6	最終決定8月31日まで延期
350/650	綿・化繊製ドレッシングガウン	2005.4.6	最終決定8月31日まで延期
222	ニット生地	2004.12.13	最終決定8月31日まで延期
447	毛製ズボン	2004.12.6	最終決定8月31日まで延期
620	その他繊維(長)織物	04.11.8/05.4.6	最終決定8月31日まで延期
345/645/646	紳士・婦人用綿・化繊製セーター	2005.4.6	最終決定8月31日まで延期
369/666	綿・化繊製カーテン、ドレパリー	2005.7.14	
341/641	綿・化繊製シャツ	2005.8.1	
342/642	綿・化繊製スカート	2005.8.1	
351/651	綿・化繊製寝衣	2005.8.1	
359s/659s	綿・化繊製水着	2005.8.1	
332/432/632	綿・毛・化繊靴下	2005.8.1	既発動の再延長申請

(注) CITA(繊維協定遂行委員会)のセーフガードに関する手続きでは申請受理後30日間のパブリックコメントの収集期間を経てその後60日間以内に原則セーフガードの可否の決定を下すこととなっており、上記6品目については、その期限が過ぎているが、中国繊維品の米国への輸入について、米国と中国との間でより広範な協定を目指すかどうかを、米国の繊維産業、議会議員と協議するため延期したものの。

EUの対中規制品目控消化状況(2005年6月11日～2005年12月31日) : 8月3日現在

Ca.No	単位	品目詳細	枠	I/L発給量	枠消化率 (%)	E/L発給量	枠消化率 (%)
2	トン	綿織物(ガーゼ、テリー、細幅、パイル、シェニール、チュール及びその他ネット生地を除く)	26,217	7,212	28	1,099	4
4	1000枚	ニット製下着(シャツ、T-シャツ、ポロ、プルオーバーバー(毛製は除く))	150,985	94,539	63	5,165	3
5	1000枚	ニット製ジャージ、プルオーバー、カーディガン、ジャンパー、アノラック	68,974	113,531	165	144	0
6	1000枚	布帛製男子用パンツ、ショーツ、ブリーフ(水泳パンツ、ズボンを除く)、女性用ズボン、スラックス	104,045	89,999	87	2,853	3
7	1000枚	女性用ブラウス、シャツ、半袖ブラウス	24,761	17,035	69	835	3
20	トン	布帛製ベッドリネン	6,451	3,388	53	177	3
26	1000枚	女性用ドレス	7,959	4,029	51	158	2
31	1000枚	ブラジャー	96,086	61,566	64	3,961	4
39	トン	テーブルリネン、トイレットリネン、キッチンリネン(綿製テリータオルは除く)	5,521	2,403	44	100	2
115	トン	フラックス・ラミー糸	1,911	1,373	72	48	3

(注) 1. カテゴリ5は、既に輸入ライセンス発給量が枠を超過し、I/Lの発給は現在停止されている。これは枠の発給日の、6月11日からEUの当該管理規則が発効した7月12日の1日前の7月11日までは、自動的にI/Lが発給されていたためで、EUは、現在7月11日以降の船積み貨物もI/Lが取得出来るよう、何らかのフレキシビリティ一条項(次年度枠の繰り入れ、カテゴリー間の枠の融通等)を検討中。

(注) 2. E/L発給(中国側)は、7月20日からで、これ以降は、中国のE/Lの提示を受けてI/Lが発給される。



## ◎ 2005年1-6月の繊維品貿易・輸出は大幅な伸び、 輸入は低調

### I. 輸 出

—22%増の478億6,540万ドル、6月単月では29%増—

このほど発表された中国の海関統計によると、2005年1-6月の中国の繊維品輸出は、22%増の478億6,540万ドルとなった。

単月の輸出状況をみると、1月は29%増、2月は34%増と大幅に伸び、3月は一旦4%増と大きく減速したが、4月は16%増、5月は23%増、6月は29%増と米国の相次ぐセーフガード実施、またEUとの繊維協定締結による駆け込み輸出もあり、6月は再び大幅な伸びとなった。

#### <品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の58%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は20%増の283億3,410万ドルとなった。内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が18%増の127億6,287万ドル、また太宗の布帛製衣料品及び同付属品の輸出は23%増の155億7,123万ドルとなっている。

織物類の輸出も、数量で16%増の78億6,382万メートル、金額で18%増の72億703万ドルと好調を維持している。

内訳は、前年は苦戦した最大品目の綿織物が、数量で19%増の25億6,360万メートル、金額で16%増の27億4,887万ドルと好調に推移、一方ポリエステル長繊維織物は、数量で11%増の24億4,986万メートル、金額で13%増の18億8,650万ドルと依然2桁の伸びを維持しているが、EUのダンピング実施の影響もあり、4月以降の伸び率は減少傾向となっている。

その他の主要織物では、合繊短繊維織物が数量で18%増の15億9,805万メートル、金額で29%増の10億5,030万ドル、ニット生地が数量で7%増の43万3,073トン、金額で12%増の16億6,852万ドルとなっている。

糸関係の輸出は、特に合繊長繊維糸の増加が著しく、数量で15%増の67万9,966トン、金額で16%増の24億8,616万ドルとなっている。内訳では、最大品目の綿糸は、数量で9%増の24万1,987トン、金額で横ばいの7億1,583万ドル、合繊短繊維糸は、数量で1%減の16万6,016トン、金額で10%増の4億7,970万ドルとなっているが、合繊長繊維糸は、数量で70%増の17万499トン、金額で78%増の4億1,417万ドルと数量、金額共に大幅な増加となっている。合繊長繊維糸のうち、太宗のポリエステル長繊維糸は、数量で95%増の11万6,126トン、金額で135%増の2億494万ドルと激増しており、ナイロン糸も数量で40%増の3万5,489トン、金額で72%増の1億2,383万ドルと大幅な伸びとなった。

2005年6月の中国の繊維品輸出入状況

単位: 1000ドル

	輸 入				輸 出									
	2004年実績		2005年1月～6月		2004年実績		2005年1月～6月		前年比					
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額						
繊維品合計														
原料(綿)合計	TON	23,001,764	1,747,011	10,721,866	TON	88,806,881	47,865,399	122						
スフ綿	TON	3,891,010	6,632,920	2,796,702	71	67	TON	282,356	929,294	172,824	143	145		
合繊綿	TON	172,961	476,381	88,101	252,612	103	113	TON	13,687	24,285	9,249	287	266	
(ポリエステル)	TON	992,584	1,375,307	433,928	710,420	83	103	TON	175,177	204,579	114,350	150,099	159	191
(アクリル)	TON	507,255	531,489	186,586	227,243	71	85	TON	144,515	143,411	95,728	102,957	167	196
糸合計	TON	459,536	775,295	234,326	443,157	95	113	TON	1,718	3,092	700	1,412	78	90
人絹糸	TON	1,717,755	3,935,831	810,736	1,990,692	90	99	TON	1,173,841	4,193,749	679,966	2,486,159	115	116
スフ糸	TON	29,258	83,019	14,743	42,701	100	104	TON	61,124	223,189	32,406	116,336	105	105
合繊長繊維糸	TON	32,122	93,698	13,848	44,781	80	91	TON	26,812	95,311	15,236	60,316	116	133
(ナイロン)	TON	714,316	1,544,504	291,263	743,232	78	98	TON	223,802	519,881	170,499	414,173	170	178
(ポリエステル)	TON	259,232	557,874	111,961	294,046	85	112	TON	55,360	166,602	35,489	123,833	140	172
合繊短繊維糸	TON	369,166	573,417	141,685	256,097	72	86	TON	136,985	207,686	116,126	204,939	195	235
綿糸	TON	172,837	416,877	85,192	210,013	92	95	TON	329,799	876,531	166,016	479,697	99	110
織物合計	TON	714,472	1,531,898	379,860	807,617	103	101	TON	432,231	1,336,555	241,987	715,832	109	100
絹織物	千LM	5,059,892	6,254,606	2,231,366	2,893,579	93	101	千LM	14,815,314	13,528,587	7,863,823	7,207,027	116	118
人絹織物	千LM	40,805	115,424	19,258	53,135	108	106	千LM	250,975	582,843	139,616	335,499	134	141
スフ織物	千LM	86,658	110,117	43,071	60,653	105	111	千LM	50,604	41,434	19,292	16,595	67	73
合繊長繊維織物	千LM	78,366	125,482	29,479	52,296	78	86	千LM	756,670	554,797	444,504	317,663	115	111
(ナイロン)	千LM	2,241,724	2,066,586	972,571	993,541	86	100	千LM	5,643,938	4,377,607	2,923,566	2,261,017	113	114
(ポリエステル)	千LM	797,863	612,423	340,629	305,957	84	100	千LM	257,064	121,257	118,874	67,131	94	116
合繊短繊維織物	千LM	1,102,705	1,063,056	413,287	483,798	73	97	千LM	4,747,972	3,669,996	2,449,862	1,886,497	111	113
綿織物	千LM	793,149	884,220	357,724	400,995	98	96	千LM	2,962,742	1,797,116	1,598,045	1,050,297	118	129
毛織物	千LM	1,612,068	2,174,494	735,498	1,047,219	100	103	千LM	4,801,301	5,251,183	2,563,603	2,748,870	119	116
不織布	千LM	77,059	610,479	29,938	217,630	107	103	千LM	95,644	504,203	49,301	266,685	115	115
タイヤコード織物	TON	113,385	408,535	66,359	235,402	123	119	TON	107,682	236,426	74,035	161,852	151	151
コーテッド織物	TON	22,211	79,860	9,291	35,706	100	108	TON	58,181	163,943	38,002	130,638	163	209
ニット生地	TON	292,959	964,618	135,338	515,530	89	106	TON	351,260	810,731	214,772	511,056	133	141
ニット製衣料	TON	463,329	1,813,034	220,808	914,049	99	104	TON	808,669	2,995,153	433,073	1,668,517	107	112
布帛製衣料			641,839		240,146		89					12,762,870		118
その他			792,205		328,651		96					15,571,228		123
			1,478,315		771,410		108					6,815,015		130

出所: 中国海関統計

綿類の輸出は、綿花の輸出は激減しているが、羊毛及びポリエステル綿、スフ綿の輸出が大きく伸び、数量で43%増の17万2,824トン、金額で45%増の5億5,104万ドルと大幅に増加している。

#### <国別輸出状況>

地域別では、東アジアがシェア43%(2%減)を占め、西アジアが6%(10%増)、ヨーロッパが23%(54%増)、北米が18%(84%増)、中米が2%(4%減)、南米が2%(29%増)、アフリカが5%(34%増)、大洋州が2%(17%増)の市場構成となっている。

国別では、1位EU(82億244万ドル:60%増)、続いて日本(76億3,800万ドル:7%増)、米国(75億7,508万ドル:88%増)、香港(65億6,525万ドル:16%減)、韓国(16億8,103万ドル:6%減)の順で、この5大市場で輸出全体の66%のシェアを占めているが、特に今年より枠が撤廃されたEU、米国向けが衣料品を中心に突出した伸びとなっている。

主要輸出品目別に国別輸出先を見ると、衣料品については、ニット製衣料品は、トップ市場は日本(28億5,163万ドル:11%増)で、続いてEU(23億6,376万ドル:86%増)、米国(20億5,483万ドル:133%増)、香港(11億1,669万ドル:47%減)、オーストラリア(4億5,061万ドル:23%増)の順となっている。また、布帛製衣料品の輸出先は、1位が日本(34億5,402万ドル:3%増)、次いで米国(32億6,921万ドル:101%増)、EU(32億5,780万ドル:63%増)、香港(15億3,159万ドル:22%減)、ロシア(5億7,377万ドル:55%増)の順となっている。

織物類については、綿織物の主要輸出先は、香港(5億3,809万メートル:1%減)、バングラデシュ(2億1,644万メートル:15%増)、韓国(1億8,331万メートル:32%増)、ベニン(1億5,969万メートル:133%増)、EU(1億5,349万メートル:102%増)の順となっている。

合繊短繊維織物は、第1位が香港(2億3,608万メートル:5%減)で、以下韓国(1億2,964万メートル:9%増)、ミャンマー(7,979万メートル:71%増)、アラブ首長国(7,748万メートル:横ばい)の順となっている。

一方、ポリエステル長繊維織物の主要輸出先は、アラブ首長国(2億9,989万メートル:11%減)、EU(2億3,629万メートル:19%減)、イラン(1億8,567万メートル:15%増)、ブラジル(1億3,136万メートル:23%増)、香港(1億815万メートル:20%減)、パキスタン(9,823万メートル:74%増)、米国(8,739万メートル:32倍増)の順となっている。EUの減少は、この3月中旬のダンピング関税賦課の影響と見られ、対照的に米国向けが激増、現在その一部はセーフガード調査対象品目となっている。

## Ⅱ. 輸 入

—10%減と低調な推移が続く—

輸入は、昨年は、特に前半に、綿花の輸入が激増したこともあり、大きく伸びたが、今年はこの綿花の輸入が大きく減少に転じており、またその他原料、織物類等の輸入も国内の増産を背景に総じて低調で、全体では前年同期比 10%減の 107 億 2,187 万ドルと 2 桁の減少となっている。

この結果、中国の 2005 年 1-6 月の繊維品貿易収支の黒字幅は前年比 35%増の 371 億 4,353 万ドルとなり、中国の外貨獲得の最大の貢献産業となっている。このうち、主要国との繊維品貿易をみると、日本とは 58 億 3,848 万ドル、香港とは 57 億 6,216 万ドル、米国とは 67 億 4,578 万ドル、EU とは 74 億 9,817 万ドルの各々の黒字となり、この 4 カ国で中国の繊維品貿易全体の黒字額の 70%を占めている。

### <品目別輸入状況>

輸入の品目別内訳では、まず綿関係では、綿花の米国からの輸入が激減していることもあり、数量で 29%減の 174 万 7,011 トン、金額で 33%減の 27 億 9,670 万ドルと大幅に減少した。合繊綿の輸入も特に量的には低調で、数量で 17%減の 43 万 3,928 トン、金額で 3%増の 7 億 1,042 万ドルとなった。合繊綿の内訳は、アクリル綿が数量で 5%減の 23 万 4,326 トン、金額で 13%増の 4 億 4,316 万ドルと数量減の金額増、一方ポリエステル綿は数量で 29%減の 18 万 6,586 トン、金額で 15%減の 2 億 2,724 万ドルと大きく減少している。因みに、前年前半特に急増した綿花の輸入は、数量で 44%減の 84 万 6,370 トン、金額で 60%減の 9 億 9,034 万ドルとなっている。

糸類の輸入は、数量で 10%減の 81 万 736 トン、金額で 1%減の 19 億 9,069 万ドルと低調な推移となっている。品目別では、最大品目の綿糸の輸入は、数量で 3%増の 37 万 9,860 トン、金額で 1%増の 8 億 762 万ドルとなった。合繊長繊維糸は、数量で 22%減の 29 万 1,263 トン、金額で 2%減の 7 億 4,323 万ドルで、この内訳は、大宗のポリエステル糸は数量で 28%減の 14 万 1,685 トン、金額で 14%減の 2 億 5,610 万ドル、一方ナイロン糸は、数量で 15%減の 11 万 1,961 トン、金額で 12%増の 2 億 9,405 万ドルとなっている。また合繊短繊維糸は数量で 8%減の 8 万 5,192 トン、金額で 5%減の 2 億 1,001 万ドルとなった。

一方、織物類の輸入については、数量で 7%減の 22 億 3,137 万メートル、金額で 1%増の 28 億 9,358 万ドルと数量減の金額微増となっている。

品目別では、最大輸入品目の合繊長繊維織物は数量で 14%減の 9 億 7,257 万メートル、金額で横ばいの 9 億 9,354 万ドルとなった。内訳は、ポリエステル(長)織物が、数量で 27%減の 4 億 1,329 万メートル、金額で 3%減の 4 億 8,380 万ドル、ナイロン織物は、数量で 16%減の 3 億 4,063 万メートル、金額で横ばいの 3 億 596 万ドルとなった。綿織物は数量で横ばいの 7 億 3,550 万メートル、金額で 3%増の 10 億 4,722 万ドル、また合繊短繊維織物は数量で 2%減の 3 億 5,772 万メートル、金額で 4%減の 4 億 100 万ドルとなった。

その他品目では、ニット生地が数量で1%減(22万808トン)、金額で4%増(9億1,405万ドル)、コーテッド織物は数量で11%減(13万5,338トン)、金額で6%増(5億1,553万ドル)と各々数量減の金額増となっている。

衣料品の輸入は、布帛製衣料品が4%減の3億2,865万ドル、ニット製衣料品は11%減の2億4,015万ドルとなった。

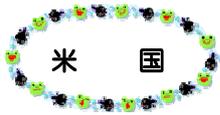
#### <国別輸入状況>

国別輸入では、日本(17億9,953万ドル:1%増)、台湾(16億6,406万ドル:6%減)、韓国(14億6,290万ドル:4%増)、米国(8億2,930万ドル:52%減)、香港(8億310万ドル:11%減)、EU(7億428万ドル:19%増)がベスト6で、加工用の原材料を中心に、これら6カ国からの輸入で全体の68%を占めている。因みに州別構成では、東アジアからの輸入が全体の74%(横ばい)を占め、北米が8%(51%減)、欧州が7%(19%増)、大洋州が5%(3%減)となっている。

主要輸入品目別に国別輸入先を見ると、合繊綿の輸入は、金額ベースでは、日本(1億8,001万ドル:15%増)、台湾(1億4,770万ドル:20%減)、韓国(1億4,538万ドル:4%減)、EU(6,416万ドル:32%増)、タイ(5,694万ドル:36%増)の順でこの5カ国で全体の84%を占めている。また、数量ベースでは、台湾が35%減(11万65トン)、韓国が22%減(9万6,218トン)、日本が2%減(8万6,162トン)、タイが10%増(4万509トン)、EUが10%増(3万2,562トン)で、タイ、EUを除き何れも低調な推移となっている。一方、合繊長繊維糸の輸入は、金額ベースで、台湾(3億1,211万ドル:16%減)がトップで、続いて韓国(1億4,688万ドル:7%減)、日本(6,969万ドル:1%減)の順で、この3カ国で全体の71%を占めており、何れも減少推移となった。また数量ベースでも、台湾が29%減(16万5,373トン)、韓国が31%減(4万9,116トン)、日本が2%減(1万713トン)と各々減少している。

織物類の輸入は上記3国と香港の4カ国からの輸入が圧倒的なシェアを占めている。

合繊長繊維織物については、1位が台湾(4億3,396万メートル:23%減)、続いて韓国(2億2,688万メートル:15%増)、日本(1億1,771万メートル:2%減)、香港(6,914万メートル:24%減)の順で、この4カ国で全体の87%を占めている。合繊短繊維織物の輸入も、台湾(1億2,968万メートル:10%増)、韓国(7,304万メートル:5%減)、日本(4,940万メートル:4%減)、香港(3,575万メートル:27%減)の順で、この4カ国で80%を占めている。また綿織物の輸入は、香港(1億9,709万メートル:横ばい)、日本(8,379万メートル:93%減)、台湾(6,049万メートル:12%減)、パキスタン(5,359万メートル:6%増)、韓国(4,426万メートル:12%増)の順となっている。



## ◎ 2005年5月の繊維品輸入・中国からの急増続く

2005年5月の米繊維品輸入は14.2%増と3カ月ぶりの二桁増となり、再び増勢を示している。また、中国からの輸入は52.4%増と引き続き大幅に増加している。

また、2005年1～5月の米繊維品輸入は9.9%増となり、このうち、中国からの輸入は46.7%の著しい増加となり、米繊維品輸入市場を席卷している。

### 【5月の輸入】

#### <3カ月ぶりの二桁の伸び>

2005年5月の米繊維品輸入は42億4,800万SME（平方メートル換算）で、前年同月に比べ14.2%増となり、2月の19.4%増以来3カ月ぶりの二桁増となった。

5月の輸入を品目別に見ると、ノン・アパレル（紡織品（＝糸、織物）、その他繊維製品）は25億4,400万SMEで8.3%の一桁の伸び率となったが、2002年1月から続いている毎月の前年同月比増の記録を41カ月に伸ばした。

他方、アパレル（衣料品）は17億400万SMEで24.2%の大幅増となり、10カ月連続の増加を記録した。

5月の地域別輸入では、中国からの輸入は14億7,900万SMEで52.4%増と、引き続き大幅な増加となった。中国からの輸入では、アパレルが4億9,600万SMEで157.6%増と激増し、ノン・アパレルも9億8,300万SMEで26.49%の大幅増となった。

その他では、インドが2億700万SMEで36.7%増、パキスタンが2億9,100万SMEで19.1%増、バングラデシュが1億100万SMEで37.0%増と、アジア地域からの輸入が増加している。

一方、カナダは2億5,700万SMEで10.0%減、韓国は1億5,400万SMEで12.6%減、台湾は8,000万SMEで19.1%減と、いずれも大幅な減少となっている。

### 【1～5月の輸入】

2005年1～5月の米繊維品輸入は200億6,500万SMEで、前年同期比9.9%増となった。この1～5月の輸入を品目別に見ると、ノン・アパレルは116億7,800万SMEで7.1%増、また、アパレルは83億8,700万SMEで13.9%増となった。

1～5月の米繊維品輸入を地域別に見ると、アジア地域では、中国を中心とするビッグ4（中国、香港、台湾、韓国）からの輸入が大きく伸びており、他方アセアンは停滞している。

また、米近隣地域では、カリブ海諸国（CBI）からの輸入が順調に推移しているが、NAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコとカナダ）は低迷している。

米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
1995年	9,053	2.2	9,255	9.9	18,308	6.0
1996年	9,405	3.9	9,658	4.4	19,063	4.1
1997年	11,546	22.8	11,349	17.5	22,895	20.1
1998年	13,059	13.1	12,886	13.5	25,945	13.3
1999年	14,512	11.1	14,103	9.5	28,615	10.3
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,704	▲0.7	16,104	0.4	32,810	▲0.2
2002年	21,028	25.9	17,256	7.2	38,285	16.7
2003年	23,362	11.1	18,864	9.3	42,226	10.3
2004年	26,976	15.5	19,652	4.2	46,628	10.4
1月	2,135	14.6	1,517	▲3.2	3,651	6.5
2月	1,882	14.8	1,440	▲3.4	3,323	6.2
3月	2,231	25.7	1,615	7.7	3,846	17.5
4月	2,305	15.1	1,388	▲3.3	3,693	7.4
5月	2,350	18.9	1,342	▲5.1	3,691	8.9
6月	2,524	28.8	1,728	10.4	4,252	20.6
7月	2,350	10.4	1,855	▲2.3	4,205	4.6
8月	2,396	20.9	1,907	8.3	4,303	15.0
9月	2,223	10.0	1,954	9.3	4,178	9.7
10月	2,264	6.0	1,803	5.4	4,065	5.7
11月	2,202	17.7	1,597	24.6	3,800	19.3
12月	2,115	5.6	1,506	3.9	3,621	4.9
2005年	11,678	7.1	8,387	13.9	20,065	9.9
1月	2,247	5.0	1,646	8.5	3,892	6.4
2月	2,208	17.3	1,759	22.2	3,968	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,069	5.8
4月	2,339	1.5	1,550	11.7	3,888	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2

注：前年比は増減、▲は減少を示す（以下の表同じ）。出所：米商務省（DOC）

<ビッグ4では、中国のみ増加>

東アジア地域のうち、いわゆるビッグ4からの輸入は29.0%の大幅増となった。この中では、中国からの輸入が46.7%増と急増し、本年1月からの規制廃止の恩典を最大限に享受している。全体の輸入に占める中国の割合は前年同期の23%から31%に拡大し、中国は引き続き供給国第1位の地位を保持している。

中国からの輸入では、特にアパレルが米輸入クォータ廃止により2.2倍と急増している。そのほかの品目も、糸が98%増、織物が75%増、その他繊維製品が21%増と、いずれも大きく増加している。

他方、他のビッグ4構成国の韓国、台湾、香港はいずれも中国の大躍進の煽りを受けて大きく減少している。ビッグ4の中で中国に続く大手供給国である韓国からの輸入は主力の織物の

不振で 11.3%減、香港は太宗品目の衣料品が低調で 23.2%減、台湾は衣料品と織物が低迷し 17.2%減となった。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年 1～5月	前年 同期比
全世界	32,864	32,812	38,288	42,225	46,628	20,065	9.9
NAFTA	7,951	7,558	7,722	7,238	7,351	2,925	▲5.1
メキシコ	4,747	4,290	4,335	3,926	4,087	1,613	▲4.1
カナダ	3,204	3,268	3,387	3,312	3,264	1,313	▲6.4
CBI	3,788	3,704	3,830	4,046	3,919	1,720	7.8
ホンジュラス	1,046	1,032	1,099	1,165	1,108	508	11.4
エルサルバドル	757	768	817	895	824	371	7.2
ドミニカ共和国	859	773	743	758	746	302	5.1
ビッグ4	5,886	5,911	9,348	12,632	16,126	7,617	29.0
中国	2,218	2,211	4,963	8,287	11,664	6,189	46.7
韓国	1,312	1,383	2,032	2,097	2,301	793	▲11.3
台湾	1,233	1,224	1,391	1,356	1,299	406	▲17.2
香港	1,123	1,092	962	892	862	230	▲23.2
アセアン	4,228	4,390	4,766	4,980	5,135	1,935	▲2.1
タイ	1,317	1,308	1,316	1,098	1,111	410	▲1.6
インドネシア	1,053	1,165	1,215	1,151	1,274	535	▲1.1
フィリピン	929	916	817	794	711	241	▲15.4
ベトナム	35	33	358	827	905	338	6.9
カンボジア	265	389	474	561	673	249	10.2
EU（15カ国）	1,863	1,868	2,055	2,058	2,059	843	▲3.1
イタリー	562	521	518	533	462	180	▲8.2
ドイツ	359	457	551	484	476	194	▲3.0
その他	9,148	9,381	10,567	11,272	12,038	5,025	4.0
パキスタン	1,997	2,189	2,537	2,690	2,966	1,296	8.3
インド	1,248	1,250	1,545	1,666	1,914	988	25.3
バングラデシュ	1,131	1,169	1,150	1,110	1,103	533	21.5
トルコ	867	871	1,068	1,026	981	372	▲7.1

<アセアン、停滞>

1～5月のアセアンからの輸入は 2.1%減と停滞している。アセアンの中では、ベトナムとカンボジアの新興市場はいずれも主力の衣料品が好調で、それぞれ 6.9%増、10.2%増の大幅な増加となっている。

しかし、タイ、インドネシア、フィリピンの伝統市場は停滞しており、タイは糸と織物、インドネシアは糸とその他繊維製品、フィリピンは衣料品の減少が影響して、それぞれ 1.6%減、

1.1%減、15.4%減と落ち込んでいる。

#### <NAFTA、低調>

NAFTA パートナーのメキシコとカナダからの1~5月の輸入では、メキシコは糸とアパレルの不振で4.1%減、またカナダは織物とその他繊維製品の不振で6.4%減となり、この結果、メキシコとカナダの両国合わせたNAFTAパートナーからの輸入は5.1%減となった。

それでも、メキシコとカナダは、それぞれ供給国第2位と第3位の地位を保持している。

#### <CBI、順調>

CBIからの1~5月の輸入は7.8%増と順調に推移している。CBIの中では、最大手のホンジュラスが11.4%増、エルサルバドルが7.2%増、ドミニカ共和国が5.1%増となった。

CBIからの輸入は、アパレルが96%と殆どを占めている。

#### <EU、低迷>

EU(15カ国)からの1~5月の輸入は、全体では3.1%の減少となった。EUの主力国であるイタリアとドイツは共に織物の不振が影響して、それぞれ8.2%、3.0%の減少となった。

#### <その他地域では、東アジア諸国が活況>

上記の主要地域以外に含まれない「その他地域」でも、パキスタン、インド、バングラデシュといった東アジア諸国からの輸入が活況を呈している。

中国、メキシコ、カナダに次いで供給国第4位の座を占めているパキスタンからの輸入は、好調な糸、衣料品、その他繊維製品に支えられて8.3%増となった。

インドは、主力の衣料品とその他繊維製品の大幅増を反映して25.3%増と大きく伸びた。また、バングラデシュも衣料品を主体に21.5%増と順調に伸びている。

### ◎ 2005年6月の米大手小売店販売、暑い天候で売上げ伸びる

—70社で5.3%増—

米国の国際ショッピング・センター協会(1CSC)が纏めた「米チエーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店の2005年6月の販売は、暑い天候で買い物客の夏物商品の購買が進み、売上高は前年同月比(既存店比、以下同じ)5.3%増と大幅な増加となった。これは、2004年5月の5.4%増以来の高い伸び率である。

エコノミストは、「6月の小売販売は、消費者が暑い天候で夏物商品を買まくったことに加え、前年同月が2.6%という比較的低い伸び率であったこともあって、約1年ぶりの高い伸び率となった」と説明し、「今年の下半期も、消費意欲の高まり、夏の暑い天候、新学期用品の購買などから、小売販売は引続き伸びる見込みである」と予想している。

ストア・タイプ別販売では、百貨店が 5.5%増、衣料品専門店チェーンが 4.7%増、ディスカウント・ストアが 5.0%増と、何れも順調に推移している。衣料品を中心に、タイプ別に大手小売店の販売状況を見ると、以下の通り。

### 米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：%

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
1月	8.2	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6
2月	7.6	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9
3月	9.9	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1
4月	4.2	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2
5月	6.8	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9
6月	7.4	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.3
7月	6.9	4.4	3.4	2.6	4.2	3.3	
8月	6.7	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	
9月	6.7	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	
10月	5.7	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	
11月	4.1	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	
12月	6.7	0.7	2.2	1.0	3.9	2.7	
年間平均	6.7	4.0	2.6	3.1	2.9	3.9	

注：伸び率は前年同月比（既存店比）の増減を示す。（以下の表、同じ）

#### <百貨店>

大手百貨店の 2005 年 6 月の販売は、全体として順調に推移したが、特に高級百貨店が好調であった。なお、ディスカウント・ストアの K マートと合併したシアーズ・ローバックの売上高は未発表である。

高級百貨店では、富裕層の顧客の引続く旺盛な購買意欲を反映して、ニーマン・マーカスが 9.2%増、ノードストロムが 8.1%増、サクスが 7.0%増と何れも大幅な伸びとなった。

このうち、ニーマン・マーカスは、部門別では、ニーマン・マーカスやバードルフ・グッドマンで構成される専門小売店部門は 8%増、ダイレクト・メール部門は 22%増となった。うち、専門小売店部門は、地域別では南東部と西部、商品別では女性用のコンテンポラリー・スポーツウエアと高級アパレル、男性用シューズ、アクセサリ、デザイナー・ハンドバッグが好調な売行きを示した。また、ダイレクト・メール部門では、女性用のアパレル、シューズ、ハンドバッグ、アクセサリ、男性用アパレルがトップセール品目に入った。

中級百貨店では、ディラードが横ばい、メイが 0.7%の微増にとどまったが、フェデレー

テッドは 2.9%増と堅調であり、J.C. ペニーは 7.4%増、コールズは 14.4%増と大幅な増加となった。

このうち、J.C. ペニーは、商品別では全ての商品分野が伸び、特に女性用のアクセサリ、女性用と男性用のアパレル、ファミリー・シューズが好調であり、男性用のスポーツウエアとアクセサリも順調に伸びた。地域別でも、全ての地域で伸び、とりわけ北東部が好調であった。

また、ディラードは、地域別販売では東部が全体の平均伸び率を上回り、西部も僅かに上回ったが、中部は僅かに下回った。また、商品別では、ランジェリー、アクセサリ、シューズが全体の平均伸び率をかなり上回ったが、女性及び子供用アパレル、家庭用装飾品、家具はかなり下回った。

### <衣料品専門店チェーン>

大手衣料品専門店チェーンの 2005 年 6 月の販売は、多くの小売店が堅調に推移し、特にティーンズ向け衣料品店チェーンのアバクロンビー&フィッチとアメリカン・イーグルはそれぞれ 38.0%増、28.0%増と著しい増加を示した。

他方、同じ若者向け衣料品専門店チェーンでも、ギャップとリミテッド・ブランドは共に横ばいとどまり、エアロポステールは 2.0%の若干増となった。

このうち、若者向け衣料品専門店チェーン最大手のギャップの首脳は、「従来から 6 月は過渡期の月で、7 月に入荷する新商品の準備のために夏物商品の一掃販売を行っていることもあり、6 月の販売は前年同月の横ばいとどまり、商品マージンは僅かながら下回った」と述べている。部門別販売では、バナナ・リパブリック北米が前年同月の 11%増から 6%減へと落ち込んだが、ギャップ北米は同 3%減から 3%増、オールド・ネイビー北米は同 2%減から横ばい、インターナショナル部門は同 11%減から 1%増へと好転している。

また、衣料品専門店チェーン第 2 位の地位にあるリミテッド・ブランドの部門別販売では、女性用ファッション衣料品専門店のリミテッド・ストアが 10%減、男女の既製服及びカジュアルウエア専門店のエクスプレスが 15%減となり、衣料品部門合計で 14%減となった。また、女性下着専門店のビクトリアズ・シークレットは横ばいとどまった。しかし、バス用品専門店のバス・アンド・ボディー・ワークスが 15%の大幅増となり、他部門の不振を補った。

キャリアウーマン向け主体の衣料品専門店チェーンでは、タルボットが 5.9%増と順調に推移したが、アン・テラー・ストアは 1.2%の減少となり、明暗が分かれた。

このうち、アン・テラー・ストアは、部門別では、アン・テラー・ロフト（手頃価格衣料品店）部門が 1%減、アン・テラー（高級衣料品店）部門が 3%減と、共に減少となった。

その他では、男性用ビジネス・アパレル専門店のメンズ・ウエアハウスは 9.7%増、女性用ラージ・サイズ衣料品専門店大手のチャーミング・ショップズは 8.0%増と、いずれも大幅な増加となった。このうち、チャーミング・ショップズでは、夏物アパレルが好調であった。

米主要小売店の 2005 年 6 月の販売状況

単位：100 万ドル、%

小 売 店 名	売 上 高	
		前年同月比
<b>&lt;百 貨 店&gt;</b>		
ディラード	630	0.0
フェデレーテッド	1,437	2.9
J.C. ペニー	1,321	7.4
コールズ	1,142	14.4
メイ	1,398	0.7
ニーマン・マーカス	351	9.2
ノードストロム	773	8.1
サクス	239	7.0
<b>&lt;衣料品専門店チェーン&gt;</b>		
アバクロンビー&フィッチ	221	38.0
アメリカン・イーグル	197	28.0
アン・テラー・ストア	192	-1.2
エアロポステール	86	2.0
チャーミング・ショップズ	285	8.0
ギャップ	1,520	0.0
リミテッド・ブランド	1,022	0.0
メンズ・ウエアハウス	147	9.7
パシフィック・サンウエア	120	4.5
タルボット	197	5.9
<b>&lt;ディスカウント・ストア&gt;</b>		
ターゲット	4,575	9.0
ウォル・マート)	29,993	4.5
<b>&lt;オフプライス・ストア&gt;</b>		
ロス・ストアズ	440	6.0
TJX	1,400	3.0

**<ディスカウント・ストア>**

大手ディスカウント・ストアの 2005 年 6 月の販売は、ターゲットが 9.0%増、ウォル・マートが 4.5%増と、何れも順調に推移した。

このうち、米国のみならず、世界最大の小売企業であるウォル・マートは、「6 カ月以上、雑貨類の販売が食料品を上回っている。これは、消費者が食料品のような必需品よりも雑貨類などの欲しいものを買おうとしていることの表れである」と説明している。同社の部門別販売は、スーパーセンターのウォル・マート部門が 5%、ホールセール・クラブのサムズ・クラブ部門が 4%のそれぞれ増加となった。

また、ターゲットは、「6 月は予想以上の売上高を記録したが、特にアパレルが好調であった」と述べている。

### <オフプライス・ストア>

アパレルやホーム・ファッションのブランド商品等をディスカウント・プライスで販売するオフプライス・ストアの2005年6月の販売では、ロス・ストアズが6.0%増、TJXが3.0%増と、何れも順調に推移した。

## ◎ 中米自由貿易協定、発効

ブッシュ大統領は8月2日、ドミニカ共和国など中米6カ国との間で関税の相互撤廃などを進める「中米自由貿易協定（CAFTA）」の実施法案に署名し、CAFTAが発効した。

米政府は昨年5月の調印以来、1年以上も議会の承認に手間取っていたが、6月の上院に続き、下院も7月28日、ようやく同法案を可決し、大統領の署名を待つだけになっていた。

CAFTAはアメリカにとって北米自由貿易協定（NAFTA）に続く多国間の貿易協定で、ブッシュ政権が強く推進してきた。しかし、米国内産業への悪影響を警戒する繊維業界やサトウキビ農家の強い反対で、米議会の承認が遅れていた。

### <2票の僅差で下院可決>

米下院は、激しい討論を経て、7月28日、中米5カ国（コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア）及びドミニカ共和国との自由貿易協定「ドミニカ共和国－中米自由貿易協定（CAFTA）」を承認した。票決は、賛成217票、反対215票で、票差2票という僅差であった。

しかし、票差は僅かであっても、このCAFTAが承認されたことは、一時は同協定に反対または未決定であった繊維産地州選出議員に支持を呼びかけて来たブッシュ政権の努力の奏功によるものである。ブッシュ政権当局は、投票に先立つ数週間、繊維品製造業者に対し、「この協定は中米地域におけるマーケット拡大の機会をもたらす」と説明して、支持を働きかけていた。

### <賛否が分かれる繊維業界>

米輸入業者及び一部の繊維品製造業者は、米国の繊維品及び衣料品双方の製造業者が中米諸国におけるマーケット拡大を分かち合う機会を得るものとして、この協定を歓迎している。また、これら業者は、この協定を、中国による米繊維・衣料品市場の乗っ取りに対抗する手段と見ている。

米国衣料品・履物協会（AAFA）のケビン・バーク会長は、「本協定は、米国の雇用を確保し、中米諸国との取引を促進するために極めて重要である。また、本協定は、米国の繊維・衣料品・履物企業が競争力を保持しながら中米諸国との連携を進めることが出来るという新たな機会をもたらすであろう」と語っている。

また、全米小売連盟（NRF）は、「本協定は、米衣料品小売業者の中米地域での買付け

事業の拡大を促進するという新しい重要なインセンティブを創出するであろう」という声明を  
発表している。

CAFTA を支持している紡織業者団体である、全米紡織機関協議会 (NCTO) のジム・チェス  
ナッツ会長は、「米国の紡織企業は、今や、中米諸国に数十万ドルの糸・織物を出荷できる  
“永久無税プラットフォーム”を持つことになる」と述べている。この NCTO の支持によ  
り、本協定は下院で勝利の票決を得ることが出来た。

一方、CAFTA に反対している米国製造取引業行動連合 (AMTAC) は、「本協定法案の可決日は、  
米国の製造業労働者にとって悲しい日となった」と語っている。AMTAC は、100 以上の  
紡織企業で構成されている。

### <CAFTA の概要>

CAFTA の概要及び下院における本協定の調整 (fixes) は、以下の通り。

- ・ 原産地規則のヤーン・フォワード・ルール

CAFTA 加盟国は、米国産の織物又は糸を使用する衣料品のみが無税措置の恩典を受ける  
資格があるという意味を持つ、“ヤーン・フォワード” ルールに合意する。即ち、中米で  
製造された衣料品は、米国に積み戻される時に無税措置の資格を得るためには、米国又  
は中米産の糸及び織物を使用しなければならない。

このヤーン・フォワード・ルールは、米国に輸入される中米産衣料品の 90%に適用され  
るので、このルールからの逸脱は輸入額の 10%未満となる。

なお、下院における法案の調整によって、中米産衣料品が対米輸出免税枠を得るには、  
ライニング及びポケット製造において米国産織物の使用が要求されている。

- ・ 直ちに無税

CAFTA 加盟国は全ての商品への相互無税アクセスを与えられるが、紡織・衣料品につい  
ては、CAFTA による関税の恩典は 2004 年 1 月 1 日に遡及する。

この遡及無税措置は、中米地域で事業を展開している全ての米紡織・衣料品製造企業に  
恩恵をもたらすことになる。小売業者が 2005 年のクォータ廃止後の調達先を探している  
状況下において、この遡及無税措置は米国や協定パートナーの生産の維持・拡大に資する  
こととなる。

- ・ 積重ね規定

CAFTA 加盟国は、メキシコ及びカナダとの“積重ね”規定に合意する。NAFTA に基づ  
く米国の特惠貿易パートナーである、メキシコ及びカナダは、CAFTA に加わることが認め  
られている。言い換えれば、CAFTA と NAFTA が積重なる訳である。

加盟の中米諸国においてメキシコ及びカナダ産の織物で製造された布帛衣料品、デニ  
ム・アパレル、毛製衣料品の一定限度数量については、米国で無税輸入措置の資格が与えら

れる。この積重ね規定による上限数量は年間 1 億平方メートル相当 (SME) となっているが、これは 2 億 SME まで伸ばすことが出来る。

全体で 1 億 SME の限度数量の内訳 (サブ・リミット) は、毛製衣料品が 200 万 SME、デニム・スカート及びパンツが 2,000 万 SME、綿・化合繊維ズボン及びスカートが 4,500 万 SME となっている。

他方、メキシコ及びカナダは、米国及び中米の繊維・衣料品輸出に相互恩典を与えなければならない。また、メキシコ及びカナダは、税関の執行措置を強化することに合意しなければならない。

積重ね規定は、米国企業にメキシコ及びカナダにおける投資の恩典を与え、また、アジア生産業者との釣合を取るために、同地域における生産の集約を支援することを定めている。

なお、下院における法案の調整によって、メキシコは、税関手続きを改善するまでは、この積重ね規定の恩典を得ることができない規定が加えられた。これは、中国及びその他の非加盟諸国からの織物が協定を避けて米国に無税で確実に入らないようにすることを企図している。

- ・ 中米大手供給国に対する TPLs が無いこと

CAFTA には、エルサルバドル、コスタリカ、ホンジュラス、グアテマラに対する TPLs (Tariff Preference Levels; 関税特惠水準=DR-CAFTA の原産地規則により原産とならない製品の一定限度数量) が無い。米国が TPLs 無しで自由貿易協定を締結したのは初めてである。

ただし、CAFTA は、ニカラグアのみ TPLs を認めている。即ち、ニカラグアは、1 億平方メートル相当 (SME) の外国産織物及び糸の使用を認めている。しかし、この TPL は米国と中米の貿易量の 4% 未満であり、しかも、これは 10 年間で徐々に廃止されることになっている。なお、下院における法案の調整によって、ニカラグア製のズボンが対米輸出免除枠を得る条件として、米国産織物の輸入を 200% 増加又は約 9,000 万ドルとすることが要求されている。

- ・ 厳しい税関執行手続き

CAFTA には、NAFTA よりも厳しい税関執行手続き規定が含まれている。この規定の中には、米税関当局が中米生産業者の敷地を不意打ちで訪問し、米国が様々な執行措置 (嫌疑商品の通関禁止を含む措置) を講ずることが出来る規定がある。

- ・ 特定繊維品のセーフガード

DR-CAFTA には、輸入急増により被害が生じた時に、米国が特定商品に関税を賦課することを認める特定繊維品セーフガード規定がある。これは、DR-CAFTA における唯一の製品—特定セーフガード規定である。

- ・ 縫糸及びエラスティック織物に対する新たな恩典

CAFTA は、縫糸及び細幅エラスティック織物について原産地規則を定めている。これは、自由貿易協定では初めてのことである。過去の協定のように、ビジブル・ライニングの原産地を確認する規定もある。

- ・ フレキシビリティ規定

CAFTA には、TPLs という大きな例外規則の代わりに、中米諸国が特別な関心を持つ幾つかの細かいフレキシビリティ規定が含まれている。これらのフレキシビリティは貿易高の 10%未満と、過去の自由貿易協定よりも小さいパーセントとなっている。

## 組合関係の会議と催

【2005年7月】

輸出入

I. 「繊維の基礎知識研修会」を東京地区で開催。

輸出

I. 日本荷主協会・関西委員会を開催。

II. 第1回ロシア繊維市場調査団打合せ会を開催。

輸入

I. 「第13回化合繊委員会」「第78回中国・アジア専門委員会」「第9回環境リサイクル対策G」を開催。

II. 「環境リサイクル対策G」が衣料リサイクルNPOと意見交換を開催。

5日(火)～6日(水)

輸出入(東京)「繊維の基礎知識研修会」が東京ファッションタウン研修室で開催され、QTECの佐藤氏並びに岡崎氏を講師に迎え、組合員多数が聴講された。

8日(金)

輸出(大阪)日本荷主協会・関西委員会が輸出繊維会館会議室で開催された。「コンテナ SHIPPING フォーラム」及び「ASM・第2回アジア荷主会議」についての報告並びに「木製梱包財をめぐる規制強化の動向」についての検討が行われた。

13日(水)

輸入(東京)「FTAに関する打合せ」が開催され、日・タイ等のFTAに関する原産地証明基準ほかについて意見交換が行われた。

15日(金)

輸出(大阪)独立行政法人日本貿易保険の最首調査役、岡主任他との貿易保険システム改定に関する打合せ会が、輸出組合会議室で開催された。

輸入(東京)尾川アパレル委員長はブルガリア大使館を往訪し、先のミッション派遣への協力に対し感謝の念を伝えた。

21日(木)

輸出(大阪)第1回ロシア繊維市場調査団打合せ会が輸出組合会議室で開催され、調査日程、調査地域、調査項目等について検討が行われた。

22日(金)

輸入(大阪)「第13回化合繊委員会」(清水委員長)が開催され、①委員交替②最近の化合繊の輸入状況について審議と意見交換が行われた。

(小松)「第78回中国・アジア専門委員会」(細田委員長)が開催され、①本年度派遣ミッションの検討の後、意見交換が行われた。

29日(金)

輸入(いわき)貿易制度専門委員会・環境リサイクル対策GはNPO衣料リサイクル団体「ザ・ピープル」と懇談の後、「第9回環境リサイクルG」(諏訪議長)を開催した。

8月のスケジュール(8月8日現在)

3日(水)	輸出入	(東京) 日本繊維産業連盟・常任委員会
5日(金)	輸出	(大阪) 第1回ブラジル繊維市場調査団打合せ会
10日(水)	輸入	(東京) 「第137回企画委員会」

## ◎ 3 運賃同盟、繊維品のスペシャル・レートの適用期間を延長（輸出組合）

輸出組合が西アフリカ運賃同盟、セイロン運賃同盟、フィリピン運賃同盟の3運賃同盟宛に繊維品のスペシャル・レートの適用期間延長を要望していたところ、各同盟より2005年7月1日以降6ヶ月間、従来と同じスペシャル・レートを適用する旨、下記の通り回答があった。

## 1. 西アフリカ運賃同盟

## (1) Contract Rate

(単位：US\$)

Commodity	Rate Basis	T/R Rate	TSD Rate		
		Freetown Dakar Conakry Banjul	Cotonou Libreville P. Gentil Pointe Noire Matadi	Monrovia Abidjan Tema Lome Douala	Lagos/Apapa  Port Harcourt
Textiles, Piece Goods & Manufactures	M	a) 216.35 b) 226.90	204.20	151.45	142.90
Textiles, Fibers Yarn & Tow	M	c) 196.85	177.15	137.80	106.65

## (2) Non-Contract Rate

(単位：US\$)

Commodity	Rate Basis	T/R Rate	TSD Rate		
		Freetown Dakar Conakry Banjul	Cotonou Libreville P. Gentil Pointe Noire Matadi	Monrovia Abidjan Tema Lome Douala	Lagos/Apapa  Port Harcourt
Textiles, Piece Goods & Manufactures	M	a) 239.05 b) 250.70	225.65	167.35	157.90
Textiles, Fibers Yarn & Tow	M	c) 217.50	195.75	152.25	117.85

Note: a) Cotton Piece Goods &amp; Manufactures only

b) Synthetic Piece Goods &amp; Manufactures only

c) Synthetic Yarn only

(注) ① T/R Rate = Temporary Reduced Rate、

② TSD Rate = Temporary Special Discount Rate

## 2. セイロン運賃同盟

Item	Rate
Staple Fiber of Rayon, Acetate and Synthetic	US\$ 59.65 per M3
Textile & Manufactured Goods of Synthetic	US\$ 70.15 per M3
Yarn of Rayon, Acetate and Synthetic	US\$ 63.15 per M3

## 3. フィリピン運賃同盟

Item No.	Commodity	Rate
V-1	Cotton Textile & Yarn & Manufactures & others	\$ 104.50 per KT/M3
V-1	Chemical Textile & Manufactures	\$ 104.50 per KT/M3
V-1	Flax Yarn & Manufacture & others	\$ 104.50 per KT/M3
V-2	Silk, Woolen Textile & Yarn Manufacture & others	\$ 138.75 per KT/M3

\* 適用期間：いずれも 2005 年 7 月 1 日～2005 年 12 月 31 日

輸出

組合業務報告

### ◎ 日本荷主協会・関西委員会を開催（輸出組合）

社団法人日本荷主協会・関西委員会が 2005 年 7 月 8 日、輸出繊維会館 BM 会議室（大阪）において開催され、20 名が出席した。

本委員会は、2005 年 6 月 16 日に東京において開催された「コンテナ SHIPPING フォーラム」及び 6 月 26 日～28 日に神戸で開催された「ASM・第 2 回アジア荷主会議」についての報告並びに「木製梱包財をめぐる規制強化の動向」が主題であった。

これらフォーラムに参加された日本荷主協会の河村常務理事より、内容等について夫々報告があった。

なお、関西委員会委員長及び日本荷主協会専務理事が、以下の通り、交替となり、両氏より就任の挨拶があった。

関西委員会新委員長      今村 智明 氏（伊藤忠商事株式会社）  
日本荷主協会新専務理事      春原 博 氏（常勤役員）



◎ 繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と  
「保険期間延長手続き」（輸出組合）

以下に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成 17 年 9 月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6 ヶ月」延長されます。

- \* 平成 17 年 3 月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- \* 平成 16 年 9 月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

**（注） 当初の保険責任期間は「前受け」6 ヶ月、「前受け以外」12 ヶ月となっております。**

1. 提出期限：平成 17 年 9 月 20 日（火）
2. 提出書類：① 貿易一般保険包括保険（繊維品）  
保険期間延長依頼書 ..... 2 通  
（用紙は事務局で準備しています。）  
② 延長を必要とする包括保険申込書のコピー .. 1 通
3. 提出先：保険部（☎06-6201-1832）

なお、延長手続きの FAX による申込みも可能です。（FAX:06-6201-1814）  
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

**前受けに係る 2005 年 3 月度受付保険申込書番号**

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	101563～ 102345 ----- 501750～ 502910	100632～ 100941	100084～ 100131

**前受け以外に係る 2004 年 9 月度受付保険申込書番号**

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 4	107054～ 107888 ----- 507200～ 508215	102798～ 103112	100353～ 100389

## お知らせ

### － 9 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

9 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。  
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題  
についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 開催日 2005 年 9 月 14 日（水）及び 9 月 28 日（水）
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次  
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03 (3270) 0791

Fax 番号 03 (3243) 1088

E - Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、  
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件  
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上

## お知らせ

### －「中国国内で繊維製品または衣料品を販売する際に適用される 法律・法規と検査要求事項の解説」発刊の紹介－

上海科懇服装検査修整有限公司  
(財) 日本化学繊維検査協会

中国の WTO 加盟以後、外資系企業の中国における対外貿易権を有する国内販売に関する規制も大分緩和され、13 億人の巨大マーケットに日本を含む外資系企業の参入が加速されつつあります。

そこで、中国国内で貿易権付き内販をすでに実施されている企業、あるいはこれから進出されている企業の方々にご参考にして頂くため、繊維製品または衣料品を中国国内で販売するに当たっての法律・法規と検査要求事項について冊子にまとめました。

(目次)

- I. 中国国内で販売する繊維製品または衣料品の表示に関する基本原則
- II. 中国国内で繊維製品または衣料品を販売する際に適用される関係法規・法律
  - 1. 製品使用説明 繊維製品または衣料品の使用説明 GB/T5296.4-1998
  - 2. 中華人民共和国不正競争防止法-1993
  - 3. 中華人民共和国広告法-1994
  - 4. 消費者利益保護法-1993
  - 5. 中華人民共和国製品品質法-1993
  - 6. 紡績品基本安全技術要求 GB/18401-2003
  - 7. 服装寸法 (成人男子、成人女子、子供) GB/T1335-1997
  - 8. 付記 (標準の分類、監督機関)
- III. 市場の要求
  - 1. 営業資格 2. 製品の要求 3. 製品検査 4. 検査内容 (組成表示、取扱い絵表示、安全性、堅牢度検査等)
- IV. 市場監督
  - 1. 合法性 2. 繊維製品に対する立ち入り検査 3. 立ち入り検査のルール 4. 立ち入り検査後の結果に対する措置 5. 立ち入り検査でよく指摘を受ける不合格内容
- V. 製品執行標準コード
  - 1. 製品執行標準コードの目的 2. 中国現行標準 3. 企業標準 4. 企業基準の有効性
- VI. まとめ
  - (参考) 上海科懇が日系顧客と協力して企業標準を申請する手続きについて

冊子価格：無料

連絡先：(財) 日本化学繊維検査協会 TEL:03-3241-7309

以上

## 組合員情報

### ○ 組合員の脱会

(輸出) 株式会社トヨタミ (2005年8月3日付け)

(輸出) 有限会社アトリエ四季 (2005年8月22日付け)

取引照会・展示会案内

〔原文は、輸入及び展示会は輸入組合・市場対策室(Tel:06-6202-5575)に保管していますので、必要な向きはご照会下さい。また、輸出の詳細は同組合のホームページ(<http://www.jtea.or.jp>)をご覧ください。〕

<p><b>輸入</b></p> <p>No.4294 <u>香港</u> ニットシャツ</p> <p>会社名 : GOOD POINT CLOTHING EXPOERT LIMITED</p> <p>住所 : Unit 1301, Lemmi Ctr, 50 Hoi Yuen Road, Kwun Ton, Hong Kong</p> <p>担当者 : Mr. Daniel Hung</p> <p>F A X : 852-3102-0201</p> <p>T E L : 852-3102-0200</p> <p>品 目 : T-Shirts and Underwears.</p>
<p><b>輸入</b></p> <p>No.4295 <u>インド</u> 紳士用シャツ等</p> <p>会社名 : TIMESGOLD EXPORTS</p> <p>住所 : P.O.Box 2729, Poojappura, Trivandrum-695 012, Kerala, India</p> <p>担当者 : Mr. Sridar</p> <p>F A X : 0091-471-235-3461</p> <p>T E L : 0091-471-235-3461</p> <p>品 目 : Men's Shirts, Trousers, Neck Ties, etc.</p>
<p><b>輸入</b></p> <p>No.4296 <u>フランス</u> ランジェリー</p> <p>会社名 : NICOLE OLIVIER</p> <p>住所 : 100, rue Maricctton-69009, Lyon, France</p> <p>担当者 : Mr. Emmanuelle Guillem</p> <p>F A X : 04-7843-4891</p> <p>T E L : 04-7883-8600</p> <p>品 目 : Lingeries.</p>
<p><b>輸入</b></p> <p>No.4297 <u>米国</u> 衣料品</p> <p>会社名 : T. PEARLMAN &amp; ASSOCIATES LIMITED</p> <p>住所 : 488-7th Ave, New York, NY USA 10018</p> <p>担当者 : Mr. Teryl Pearlman</p> <p>F A X : 416-925-5327</p> <p>T E L : 416-925-4278</p> <p>品 目 : Men's and Women's Wears.</p>
<p><b>輸入</b></p> <p>No.4298 <u>ブラジル</u> 女性用水着、運動着</p> <p>会社名 : MARLI LNES LANZONI</p> <p>住所 : Av. Salgado Filho, 1340, CEP-99.200-000, Guapore(RS), Brasil</p> <p>担当者 : Mr. Leandro Lanzoni</p> <p>F A X : 55-54-443-1570</p> <p>T E L : 55-54-443-1570</p> <p>品 目 : Beach Wears, Lingeries, Active Wears.</p>

《海 外》

No.1054 中 国

国際繊維・衣類展示会

(International Textile & Apparel Brand Fair)

会 期 : 2005年9月21日(水)～9月23日(金) 9:00～17:00

会 場 : China World Trade Center, Beijing

主 催 : Chinatex Advertising & Exhibition Co., Ltd..

後 援 : China Chamber of Commerce for Import & Export of Textiles.

出展社数 : 約350社

展示商品 : 織物、紳士・婦人・子供用各種アパレル、家庭用品、アクセサリ等

問い合わせ先 : Sunry Advertising & Exhibition Co., Ltd.(Tel:86-10-6428-3382)

No.1065 台 湾

台北テキスタイルフェア

(Taipei Innovative Textile Application Show:TITAS 2005)

会 期 : 2005年9月29日(木)～10月1日(土) 9:30～17:30

会 場 : 台北世界貿易センター展示ホール

主 催 : (財)紡拓会.

出展社数 : 約250社

展示商品 : 各種アパレル、衣料用副資材、工業／家庭用資材、糸、織物、不織布等

問い合わせ先 : 台湾貿易センター(Tel:06-6614-9705)